

京都府環境審議会廃棄物・循環型社会形成部会 議事要旨

1. 開催日時 平成28年6月27日（月曜日）午後2時30分から午後4時30分

2. 場所 京都平安ホテル 平安の間

3. 出席者

【部会委員】 大西委員、岡田委員、郡嵩委員、酒井委員、佐々木委員、
汐見委員、山田委員、山本委員（計8名）

※上記のうち、次の委員は代理出席

岡田委員（代理：久保京都市環境局循環型社会推進部長）

汐見委員（代理：藤井氏）

【事務局】 山口環境部長、山田環境技術専門監、尾形循環型社会推進課長、
太田循環型社会推進課不法投棄等対策担当課長、その他関係職員

【報道機関】 （株）建設経済新聞社、日刊建設タイムズ

【傍聴者】 0名

4. 議 題

(1) 部会長の選出

(2) 諮問事項

(3) 報告事項

①現計画の概要

②廃棄物処理法の改正等

(4) 審議事項

③循環型社会形成計画見直しの方向性について（検討資料）

④見直し計画骨子（案）

(5) 今後のスケジュール

5. 議事概要＜主な意見＞

(1) 部会長の選出

委員の互選により、郡嵩委員が部会長に選出された。

(2) 諮問事項

京都府循環型社会形成計画（第2期）の見直しについて

(3) 報告事項

①現計画の概要

②廃棄物処理法の改正等

- ・産業廃棄物実態調査が、5年毎であるが、その間を推定することを考えるべき。
- ・一般廃棄物について、再生利用率が低い理由を明確にするべき。
- ・循環産業の育成を検討するべき。

(4) 審議事項

③循環型社会形成計画見直しの方向性について（検討資料）

④見直し計画骨子（案）

- ・産廃税を活用して新事業の創出を検討してはどうか。
- ・2R産業の推進のために政策統合を進めるべき。
- ・単純焼却を取りやめる等の大きな方向を打ち出してはどうか。
- ・有用資源の回収について、マイナス面ばかりを市町村がやらなければならない現状がある。市町村の意見を聴取してもらいたい。
- ・災害廃棄物処理に関して、マニュアル化を検討してはどうか。
- ・市民にわかりやすい計画となるよう、アイデアを出すべき。